

仙台新春チェス大会レポート (page 6)

初春のチェス旅 宮城県編

From Tyler's Desk (page 18)

Nagoya Open 2021 Tournament Report



NCS
Japanchess.org
2022.2.1

NCS Letter 35

“The blunders are all there on the board, waiting to be made.”

- Savielly Tartakower -

全日本学生チェス選手権2021

優勝者自戦記



#35

03 | 新理事からのメッセージ
真鍋 浩

04 | 全日本学生チェス選手権2021
レポート 山田 明弘
自戦記 三井 峻也

06 | 仙台新春チェス大会レポート
神田 大吾

08 | 初心者向け講座（8）
坂井 延寿

10 | 名局から学ぶ必修パターン
山田 弘平

14 | チェス大会 in アメリカ
上杉 賀子

16 | Theme and Variations (11)
前嶋 啓彰

18 | From Tyler's Desk
Scott, Tyler

21 | Information
2月の配信予定表など

23 | 編集後記



新理事からの メッセージ



選挙結果を受け、NCSでは下記の通り新しい理事体制を決定しました。

代表理事 山田 明弘（現任）
理事 真鍋 浩（新任）
理事 ヒーバート 由美子
（ヒーバートさんは暫く理事に留まり業務を引き継いだ後、退任予定）

この度、NCSの理事に就任しました、真鍋です。

理事選挙において、ご支援いただいた多くの会員の皆様、推薦人を引き受けていただいた、ヒーバート由美子さんと小島慎也さん、選挙管理委員の塩見さんと黒坂さんにまずは御礼申し上げたいと思います。

選挙期間中は、多数の会員の方から、期待の声や励ましの声を頂戴すると共に、NCSの進むべき方向性や、対応すべき事柄について、多くの提言やご意見を頂きました。また今回の理事選挙は「単なる選挙ではなく、今後の方針を決める機会」との声もよく聞きました。私自身も、頂いた提言や意見を踏まえて、オンライン質問会「一問一答」の場で今後の方針をお示ししました。

結果として、予想よりも高い得票率、多数の支持を頂いたのは、私自身に対する評価というよりも、お示したNCSの今後の方向性について、賛意を頂いたものと考えています。長期ビジョンや事業計画の策定、財政の安定化と会員数の増加、NCSの組織力の強化、という優先事項から着実に実行して行きたいと思います。

就任以来、ヒーバートさん、山田明弘さん、スタッフの皆さんとの打合せを早速始めています。NCSがボランティアスタッフの皆さんに支えられていることは理解しているつもりでしたが、実際に一緒に仕事をしてみると、大会運営、会報の編集・発行、Webサイト運営、レーティング計算、動画配信等、NCSの活動がスタッフの皆さんの献身的な貢献によって支えられていることがよくわかりまし

た。「チェスを愛する気持ち」を共有する仲間と一緒に、チェスの普及と発展に尽力したいと思います。

コロナ禍は、チェス界にも甚大な影響を与えました。数多くの大会が中止・延期になり、プレーヤーの皆さんは、大きなフラストレーションを感じて来たと思います。一方で、色々な形でオンライン大会が活発に開催され、その特徴を活かして海外からの参加やオンライン配信が行われるようになりました。ステイホームの効果で、ネットでチェスを始める人も増え、チェスの動画配信者も多数現れています。まさに「ピンチはチャンス」であり、このような世の中の動きにNCSとしても機敏に対応して行きたいと思えます。「NCS Letter」についても、より多くの会員の皆様に読んでいただけるように、見直しを検討しているところです。

NCSはヒーバートさんと山田さんの、チェスに対する熱い想いと、果敢な行動力で、コロナ禍を乗り越えてここまで発展して来ました。私の役割はヒーバートさんからそのバトンを受け継ぎ、山田さんと二人三脚で、次のステージへとNCSを成長させて行くことです。会員の皆様とのコミュニケーションとしては、オンラインアンケートや、地域クラブや大学クラブのリーダーとのミーティング等も実施の上、運営方針に反映していきたいと思えます。皆さんの意見を採り入れ、ボランティアスタッフメンバーと一緒に力を合わせ、NCSの活動をより大きくて活発なものにすべく、力を尽くしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

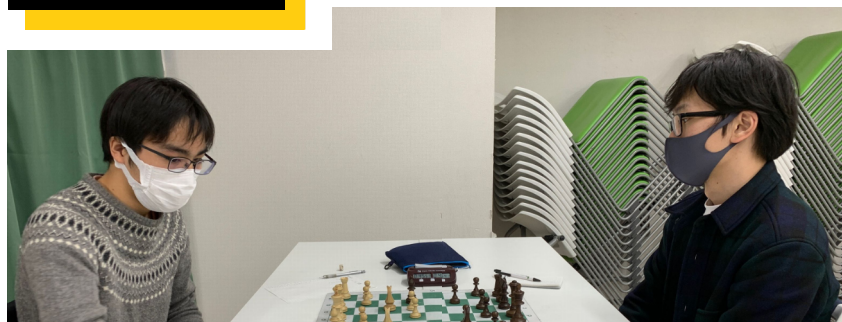


全日本 学生チェス選手権 2021

12月25日から26日に東京、文京区民センターにて全日本学生チェス選手権2021が実施されました。持ち時間45分+30秒/手、6RスイスのNCS公式戦に参加者20名が集まり、熱戦を繰り広げました。主催された学生チェス連盟のスタッフの皆さん、参加選手の皆さん、手作りの大会はご苦労もあったと思います。お疲れ様！

優勝は三井さん、準優勝はTsogt-Ochirさん、おふたりは今年の全日本チェス選手権のシード権を手に入れています。森安さんは上位2名以外に全勝しての入賞です。優勝の三井さんから、今大会全敗の方に大苦戦したという話がありました。それだけ選手どうしに差がなかった大会と言えるでしょう。全敗だったとしても、大事なのは今の順位でなく、未来の順位です。

日本の学生チェス界はコロナの影響を直接受けました。しかし、この大会の開催が復活の大きな一歩になればと願わずにいません。



1位 三井 峻也 5.5/6pts (中央)、2位 Tsogt-Ochir, Bold 5.0 (左)、3位 森安 悠一郎 4.0 (右) (全日本チェス選手権シード権は上位2名に授与されます)



優勝者自戦記 三井 峻也

学 生選手権の優勝争いはR4終了時に全勝が二人となりR5で直接対決となりました。以前OTBで開催された2年前の学生選手権では直接対決で優勢から逆転負けを許して優勝を逃したので気合を入れて臨みました。全勝同士でしたがこの時点でのタイブレークでは負けていたので勝ちたいところでした。

Tsogt-Ochir, Bold Mitsui, Ryoya

1. d4 Nf6 2. Bf4 d5 3. e3 e6 4. Nf3 Bd6 5. Bg3 O-O 6. Nbd2 b6 7. Bd3 Ba6 8. Qe2 Bxd3 9. Qxd3 c5 10. dxc5?! Bxc5



このタイミングでc5の交換をするのは想定外でやや軽率に取り返してしまいました。10...bxc5!でハンギングポーンを持つ展開は黒有望だったと思います。しかし本譜でも早々に白からセンターを放棄してしまうのはやや消極的で黒は満足な序盤です。

11. O-O Nc6 12. Rfd1 Qe7 13. c4 Rfd8 14. Rac1 e5! 15. Qb1 e4



白が手放したセンターでスペースを確保し、やや黒が指しやすい局面だと思います。黒からのd5-d4ブレークがきれいに入ってしまうと白としてはかなり厳しいため、ここからの応手はある程度限られています。

16. cxd5 16. Ng5には16...d4としてe4とe3の交換をするつもりでした。**17. Ndx e4 Nxe4 18. Nxe4 dxe3**は白キングが弱く黒にチャンスがあると試合中は考えていましたが、**19. Rxd8+ Rxd8 20. Nxc5 Qxc5 21. Qe4=**とすれば局面を捌くことができ、バランスのとれた局面でした。本譜ではe4に黒のポーンが残るため、この変化よりも白がややパッシブになります。

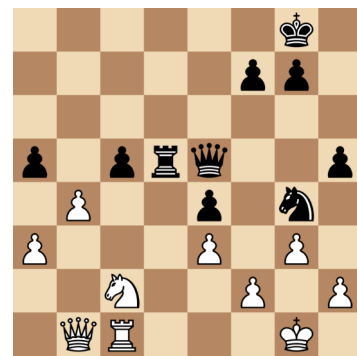
16... Rxd5 17. Ne1 h5?! キングサイドのチャンスを求めてスペースを取りに行くプランは良いのですが、**18. Nxe4!**と白がポーンを掠め取る手を見逃していました。

18. Nb3 Rad8 19. Nxc5 bxc5 20. a3 a5 21. Nc2 Ne5 22. Rxd5 Rxd5 23. Bxe5 Qxe5 24. b4?

24. h3が必要でした。**24. h3 g5!?**を読んでいましたが、そこでの**25. b4!**はクイーンサイドで主導権をとる好手でした。試合中、b4によりクイーンサイドをこじ開けるプランを過小評価していたのでかなり黒が良いと思っていましたが、この手順であれば互角に近かったです。本譜は手順がまずく、...Ng4以降黒の攻撃は決定的なものとなります。

また**24. h3**に対して白のカウンターを予め止める**24...a4!**がより正確とのことですが、この発想は試合中にはありませんでした。

24...Ng4 25. g3



25...Nxf2! 図の局面では黒になにか決め手があると思っていたので具体的な決め手を探しました。より素直な**25...Rd2 26. Rf1 Qf5 -+**でも十分です。

26. Kxf2とサクリファイスを受けると**26... Rd2+ 27. Kg1 Qf5 28. Rf1 Qh3 29. Rf2 Rxf2 30. Kxf2 Qxh2+ 31. Ke1 Qg1+ -+**でクイーンを取って黒勝ちとなります。

26. Ne1 h4?! 26...Rd2の方が強力ですが本譜でも黒優勢のエンドゲームになりました。

27. Rxc5 Rxc5 28. bxc5 hxg3 29. Ng2 Nh3+ 30. Kh1 gxh2 31. Qe1 Qxc5 32. Qg3 Qc1+ 33. Kxh2 Ng1 34. Qe5? Nf3+ 0-1

最終的に対戦相手のBoldさんと0.5pt差となり、この直接対決のおかげで念願の優勝を収めることができました。色々な大会には参加していますが、学生選手権は参加者と知り合いであることも多く独特な大会であると思っています。お互いに手の内を知っている人が多いので大会前の準備は気合が入り、今回はそれが実を結んだことを嬉しく思っています。

大会中、各ボードを回って見ているとレーティングを持っていない人や、試合数が少なく適切なレーティングが付けられていない人でも鋭いプレーを見せてくれるプレイヤーがいると参加するたびに思っています。ぜひ他の大会にも出てほしいですし、対局できることを楽しみにしています。

最後に初めての運営にも関わらず大会を成功させた学生チェス連盟の青山くんお疲れ様でした！

仙台新春チェス大会レポート



松島湾から福浦島に掛かる全長252mの「福浦橋」。
「出会い橋」とも呼ばれ、渡ると良縁に恵まれるそう。

2022年1月9日（日）、仙台新春チェス大会に参加しました。今年で第44回となる、長い歴史のある競技会です。

1976年10月11日、東北チェス連盟が結成されました。東北地方で「チェス競技会と普及活動をより身近に、より積極的に推進していきたい」（「東北チェス連盟結成趣意書」より）との思いから、有志の人たちが広く呼びかけ、日本チェス協会（当時）の規約に則って地方連盟を作り、同協会の下部組織として活動を始めました。同年11月に仙台市内で行われた設立記念チェス大会には、東北の各県から14名が参加。そして翌1977年1月に第1回の「新春チェス大会」が開催されたのでした。以来、ほぼ半世紀にわたって「新春チェス大会」は毎年1月に開催され、途中に2回の中断があったため、46年目の今年、第44回が開催の運びとなりました。

東北チェス連盟の設立から幾星霜、紆余曲折もあり、1991年9月からは仙台チェスクラブが東北チェス連盟の活動を引き継いで今日に至っています。同クラブ代表の高橋光雄さんは、「面と向かってチェスをやる場を確保したいという、私の気まぐれでやっているだけです」と淡々とおっしゃいますが、年4回の大会（1月、3月、7月、10月）と、毎月2度の例会を50年近く開き続けることは、並み大抵のことではありません。加えて、ここ2年はコロナ禍で参加人数が激減しているため、ご心労はいかばかりか…

今年の新春チェス大会は5名参加のため、TDの高橋さんが運営に専念され、4名で総当たりの末、初参加のカナダ人、仙台市在住のFerguson, Peterさんが4戦全勝で優勝しました。「今ではだいぶ弱くなったけど、若いころはレーティング2300くらいだった」そうで、昔取った杵柄、貫禄の優勝でした。おめでとうございます！（文：神田大吾）



対局中の様子



昼食のお弁当



主催の高橋さんと
優勝のFergusonさん

順位	氏名	Rating	1R	2R	3R	4R	合計ポイント
1	Ferguson, Peter	UR	黒W (4)	白W (2)	黒W (3)	黒W (2)	4
2	神田 大吾	1786	白W (3)	黒L (1)	黒W (4)	白L (1)	2
3	佐藤 伸	UR	黒L (2)	白W (4)	白L (1)	黒W (5)	2
4	菅原 信郎	UR	白L (1)	黒L (3)	白L (2)	Bye	0
5	高橋 光雄	1309	Bye	Bye	Bye	白L (3)	0

【凡例】白W：白番で勝ち、黒L：黒番で負け、Bye：不戦、(…)の数字は対戦相手の順位番号

仙台では今後、以下の日時でチェス大会が開かれます。

3月27日（日）全日本チェス選手権2022 東北地区選手権
7月10日（日）仙台たなばたチェス大会

会場：仙台市東六コミュニティセンター

時間：9:00開始～20:30終了予定

タイムコントロール：45分+30秒/手（4ラウンド）

これら大会とは別に、例会も定期的に行われています。原則的に第2土曜日と第4土曜日の13:00～17:00で、場所は左記の大会と同じ、仙台市東六コミュニティセンターです。但し感染症の現状から、2月の例会は中止です。

ご興味のある方は、仙台チェスクラブ代表の高橋光雄さん（電話022-264-1654）にお問い合わせください。

～初春のチェス旅 宮城県編～



瑞鳳殿入口



仙台城址の伊達政宗公騎馬像

今年の新春チェス大会、ちょうど3連休の中間でしたので、私は前泊と後泊をして宮城県の観光も楽しみました。松島湾の美景に見ほれ、カキ料理に舌鼓を打った前日。そして大会翌日は仙台市内を循環バスで回り、瑞鳳殿（伊達政宗の菩提寺）などの名所旧跡を訪れました。

マスク着用と手指消毒は相変わらずながら、チェス大会を兼ねての観光旅行ができるようになったのは嬉しい限りでした。その後のオミクロンの蔓延は冷水を浴びせられた気分ですが、やまない雨はなく、対面でチェスを楽しめる日が遠からずまたやって来ることでしょう。仙台チェスクラブのご発展をお祈りいたします。

循環バス
るーぶる
仙台



3種類の牡蠣料理が
食べられる
「牡蠣丼セット」



元祖スイーツ男子神田の
今回の旅の本命「村上屋餅店」

初心者向け講座 (8)

センターを制圧せよ ―序盤の考え方 2―

坂井 延寿

初心者向け講座 (4) (NCS Letter 30) では序盤の考え方としてピース (駒) の展開について説明しました。今回はピースの展開と並んでチェスの序盤における重要な考え方である「センター」について解説したいと思います。

センターとは

E「今日はチェスの序盤で重要なセンターについてやっていきます。まずは説明をお願いします！」

A「はい、センターとは中心のことです！」

E「え？あ、いやそれは英単語の直訳だね？もう少しチェス的な説明をお願いしたいんだけど…」

A「そう言われましても、ピースの展開に比べると何かセンターって曖昧じゃないですか？」

E「確かに、チェスの序盤においてセンターが大事です、とはよく言われるけど、具体性がない説明が多い気がする。」

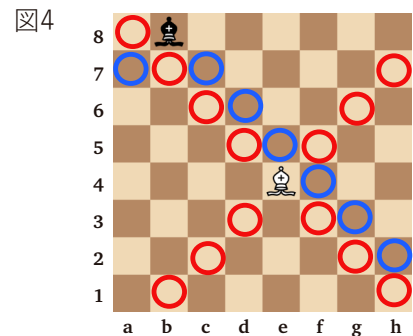
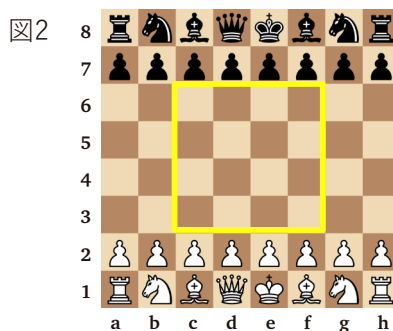
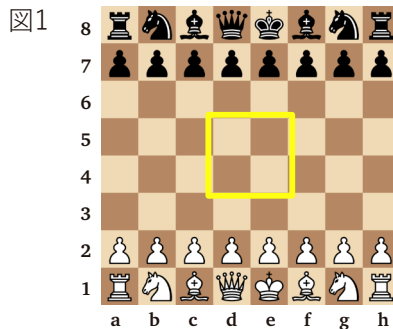
A「じゃあ、我々も一緒にセンターの重要性とはなんなのか、考えながら解説していけばいいんじゃないかな？」

E「なるほど、じゃあはっきりと分かっている点から整理していきましょうか。」

A「まずはセンターの定義から。」

E「センターはチェス盤の中央付近のマスのことを意味します。」

A「狭い意味ではd4, d5, e4, e5の4マス (図1)、広い意味ではcファイルからfファイルの3段目から6段目がセンターと呼ばれることが多いですね (図2) 。



センターの支配

A「では、センターを語る上で欠かせない、『センターの支配』について今度はEnjuさんから説明してもらってもいいですか？」

E「君、難しいところを私に振ってない？」

A「否！」

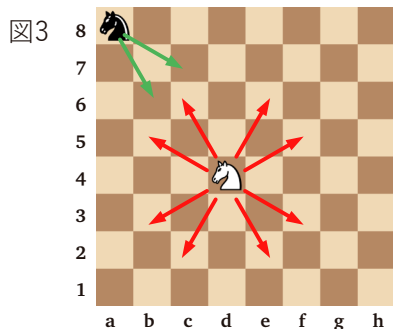
E「まあ、いいや。『センターの支配』とは、センターに駒の力を集中することで自分はセンターのマスを活用できるけど、敵は活用できなくすることです。」

E「具体的にはセンターのポーンを突くことで、ポーンが攻撃しているマスに相手はピースを配置することが難しくなります。」

A「例えば、図5のように白がe4と突いているとd5とf5のマス攻撃しているの、黒はそのマスが使えづらくなります。」

E「また、ナイトやビショップによってセンターのマス攻撃して、同じような効果を狙うこともあります。ただし、ポーンに比べるとその効果は弱いです。」

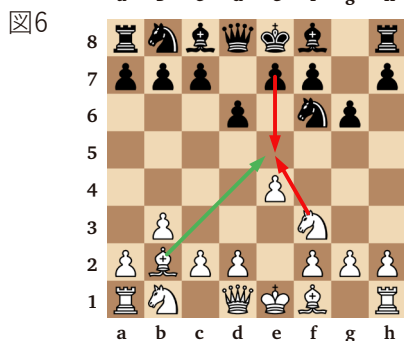
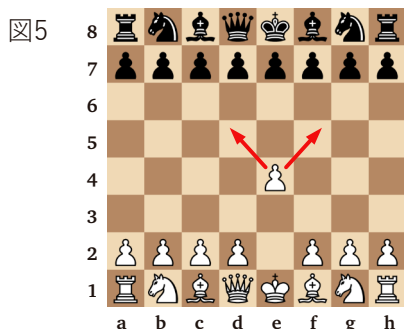
A「その理由は図6を見ると分かると思います。白はf3のナイトとb2のビショップを用いてe5のマス攻撃しているけれども、黒



はd6のポーンのサポートがあるので、次にe5のポーンを突くことが可能です。」

E「ポーンはチェスにおいて最も価値が低い駒なので、ナイトやビショップはポーンと交換するわけにはいかないからですね。」

A「ポーンはコスパがいいんです。」



センターの活用

E「さて、ここまで、センターの定義、センターの重要性、センターの支配について見てきました。」

A「教科書的にはセンターについて語り尽くした気がするね。」

E「でも、なんか具体性に欠ける気がしますね?」

A「そうだね、なんかこの話聞いただけで実践できる感じがしない。」

E「私もそう思います。ですので、チェスのゲームでよく出てくる、センターが関わりあると思われる具体例を2つ挙げておこうと思います。」

通り道としてのセンター

E「まずピースの通り道としてのセンターについてです。図7を見てく

ださい。」

A「白がガンガン攻めているけれど、h6でナイトを攻撃されているので、逃げなければならないね。」

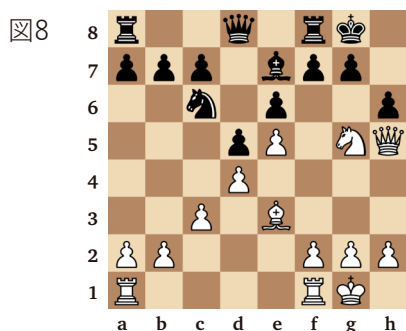
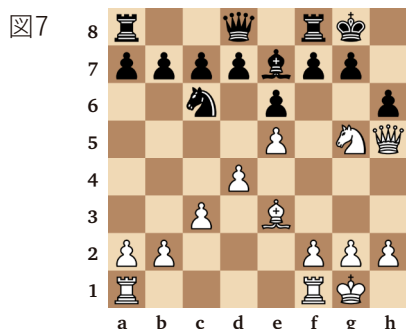
E「Azumiさんならどこに逃げます?」

A「e4だね。f6やd6のマスを攻撃していて強力。」

E「じゃあ、ほぼ同じ局面の図8はどうでしょう?」

A「今度はd5のポーンがいるので、e4にはいけない。f3かh3と下がるしかないね。少し攻めが弱くなりそう。確かにセンターが重要になる局面だね。」

E「そうだね。図7のe4のナイトはセンターにピースを配置すると強力である例だし、図8はポーンをセンターに配置することでセンターのマスを支配する利点を示す1例になっています。」



ポーンブレイクとセンター

E「図9はc5と黒にポーンを突かれたところなのですが、Azumiさんだったらどうします?」

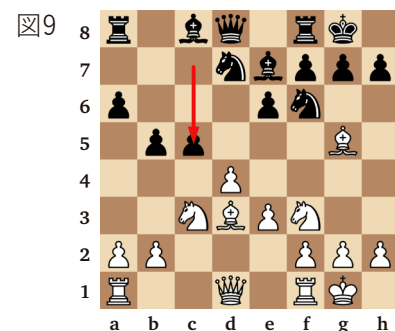
A「どうするって、無視するかな?」

E「何故でしょう?」

A「何故って、このポーンを取ってしまうと、Nxc5と取られてビショップに当たって煩わしい...あ、そうか。」

E「チェスの定跡において相手にセンターのポーンをポーンで攻撃されることが多いと思います。このポーンを取ってしまうと、センターのマスの支配を放棄することになるんです。」

A「ここでは、ポーンを取るとc5の支配を失うために、ナイトがc5に入れるようになるんだね。皆さんが指す、指そうとしているオープニングでも同じような場面がありませんか?」



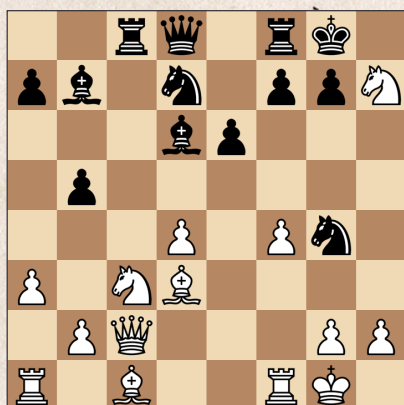
まとめ

今回は序盤の基本の2回目として「センター」について扱いましたが、いかがだったでしょうか。センターの重要性については、様々な文献で語られていますが、具体性に乏しい記述が多いと私自身思っていたので、具体例を交えてみました。また、センターは序盤の基本と言いつつ、実践的には中盤でその重要性を発揮することも多く、そのあたりも「ピースの展開」に比べて分かりにくい部分なのではないかと思います。一応前回の「ピースの展開」と今回の「センター」で序盤の基本を終えたことになりますが、これからも序盤について視点を変えて解説をしていこうと思いますので、楽しみにしててください。

名局から学ぶ必修パターン

～Rubinsteinのスナイパーライフル～

山田 弘平



Aronian - Anand 15.exd4 まで

現在、インドではチェスが大ブーム。世界のどの大会を見てもインドの若手プレーヤーが活躍しています。2020年のオンラインオリンピックでは悲願の金メダルも獲得し、まさにこれから世界トップ国への成長を遂げようとしています。

そのチェスブームの最初の火付け役となったのは、やはりアジア人で初めて王座を手にした、前世界チャンピオンのViswanathan Anand（ヴィシュワナサン・アナンド）でしょう。早見え早指しを得意としながらコンピュータのような正確さでプレーすることができ、52歳となった今でも世界トップレベルのプレーヤーとして活躍しています。

そのAnandの代表的なゲームが2013年に指されたAronianとのゲームです。図から15...Bc5! 16.Be2?! Nde5!!が強烈な攻撃。白キングに向けたダブルビショップを存分に活かして、わずか23手でAronianのキングを捕まえてしまいました。

今回はこのゲームのようにダブルビショップ（ビショップペアとも言います）が活躍するパターンを学びましょう。Anandのゲームは、Youtubeの講座（<https://www.youtube.com/watch?v=TLnT6m7IZO4&t=4s>）でお楽しみください。

皆さん、こんにちは。もう2月になってしまいましたが、今年初の連載記事です（原稿はお正月休みで書きました）。2022年もNCSレター、公式YouTubeチャンネル、OPENREC.tvチャンネルをよろしくおねがいします！

さて、今回のテーマは「ビショップペア」です。チェスの解説ではたびたび「ビショップペアを持ったので有利」などと聞くことがあります。しかし、なぜビショップペアを持つと有利なのか、どう使うと強力なのかを実感する機会は多くないかもしれません。

その有利さを実感できるひとつの例が、冒頭紹介したAnandのゲームです。このゲームは現代における最も優れたビショップペアの例ですが、Anand自身が言及したようにこのゲームには「元ネタ」があります。まずこのゲームを見ておくことにしましょう。

Rotlewi, G
Rubinstein, A
Lodz 1907
[D40] QGD Semi-Tarrasch

1.d4 d5 2.Nf3 e6 3.e3 c5 4.c4 Nc6 5.Nc3 Nf6

やや変則的な手順から、Queen's Gambit DeclinedのSemi-Tarrasch variationに合流しました。現代でも多くのマスターが愛用する定跡で、Anandも黒のレパートリーとしてSemi-Tarraschを指していたことがあります。

6.dxc5 Bxc5 7.a3 a6 8.b4 Bd6 9.Bb2

白から6.dxc5と取ることで黒が1手得たように見えますが、白も8.b4とテンポを稼ぎながらクイーンサイドにスペースを取ります。

9...O-O 10.Qd2!? Qe7!

10.Qd2は少し珍しいアイデア

です。10.Be2?! dxc4!は白が面白くないため別の手を選ぶことになりませんが、10.cxd5 exd5 11.Be2や10.Qc2が自然な選択といえるでしょう。白はIQPポジションを作りたくなかったのかもしれませんが。

一方の黒はd6ビショップがすでに展開しているため、形よくクイーンを配置することができました。



Rotlewi - Rubinstein 10...Qe7 まで

11.Bd3? dxc4! 12.Bxc4 b5 13.Bd3 Rd8

自然に見える11.Bd3が黒に主導権を渡す疑問手でした。怖くても11.cxd5 exd5 12.Nxd5 Nxd5 13.Qxd5とポーンを取って勝負するところで、以下13...Nxb4 14.axb4 Bxb4+ 15.Ke2 Be6 16.Qd4 f5となって難解な形勢です。

14.Qe2 Bb7 15.O-O Ne5! =/+

白黒ともに同じ形ですが、白が10.Qd2、11.Bd3と2手余計に使ったことで黒の方が2手得になっています。黒はその2手を13...Rd8、14...Ne5と使って戦いを仕掛けます。互いにビショップペアを持ち合っていますが、黒のビショップペアが先にアクティブになったことに注目してください。

16.Nxe5 Bxe5 17.f4 Bc7 18.e4

白は普通に駒を展開すると手得の黒に対抗できないため、キングサイドのスペースで勝負します。

18...Rac8 19.e5? Bb6+ 20.Kh1

19.e5が黒のコンビネーションを軽視した敗着となりました。続きを見る前に、黒からどんな攻撃があるか、Anandのゲームを参考に考えてみてください。



Rotlewi - Rubinstein 20.Kh1まで

20...Ng4!

おそらく白が軽視していたであろう厳しい攻めです。b6とb7に並んだビショップペアが白キングをにらんでいるため、このナイトはポーンで追うことが難しくなっています。さらにこの局面では、次に...Qh4や...Ne3のような厳しい狙いが残ります。

必修パターン：ビショップペア+ナイトジャンプ

長い射程をもつビショップペアの攻めは、射程の短いナイトと相性が良い。

ビショップペアを持ったときはナイトを跳ねる、ポーンを突く、クイーンを相手キングに近づけるといった手段で、近接戦に持ち込むことを考えよう！

21.Be4

21.Qxg4 Rxd3+-は次のRxc3とRd2を両方受けられません。同じ理屈で21.Bxh7+ Kxh7 22.Qxg4 Rd2+-も白負けです。

そこで他の候補手は21.Ne4になりますが、この手に対しては21...Rxd3!が好手。22.Qxd3 Bxe4 23.Qxe4 Qh4 24.h3 [途中図]と進んで決め手があります。



途中図 24.h3まで

わかりましたか？24...Qg3! 25.hxg4 Qh4#までのチェックメイトです。残ったb6のビショップがよく利いていますね。

本譜は21.Be4と受けましたが、同じようにクイーンが攻めに参加します。

21...Qh4 22.g3

22.h3には22...Rxc3!が絶好の一手。以下に示すように白がどう応じても攻めが決まります。

23.Bxb7には23...Rxb3+ 24.gxh3 Qxh3以下メイト。

23.Bxc3には23...Bxe4 24.Qxg4

(24.Qxe4 Qg3+-) 24...Qxg4 25.hxg4 Rd3!で次の25...Rh3#と25...Rxc3が両狙い。

23.Qxg4には23...Rxb3+! 24.Qxb3 Qxb3 25.gxh3 Bxe4+ 26.Kh2 Rd2+ 27.Kg3 Rg2+ 28.Kh4 Bd8+ 29.Kh5 Bg6#と手数は長いですがメイトになります。

本譜はg3と受けましたが、白キングの斜めの筋ががら空きになりました。これでビショップペアの威力が最大限発揮される条件が整いました。



Rotlewi - Rubinstein 22.g3まで

22...Rxc3!

クイーン取りを放置して、ルークサクリフェイス！23.Bxc3 Bxe4+ 24.Qxe4 Qxh2#が狙いです。

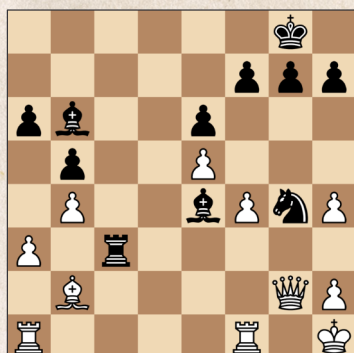
23.Bxb7も23...Rxb3! 24.Rf3 (24.Bf3 Nxb2!-) 24...Rxf3 25.Bxf3 Nf2+! 26.Kg1 Ne4+ 27.Kf1 Nd2+ 28.Kg2 Nxf3 29.Qxf3 Rd2+のような攻めで、細かい変化はありますが白が耐えられません。そこで白はクイーンを取りましたが…。

23.gxh4 Rd2!!

とにかくe4のビショップを取りに行くのが急所です。

24.Qxd2 Bxe4+ 25.Qg2

次の一手で白はリザインしました。美しい終局図、思い描くことはできますか？



Rotlewi - Rubinstein 25.Qg2まで

25...Rh3!! 0-1

次の26...Rxh2#が受けられません。ビショップペアを主軸にして残りのピースを使い切った、見事なコンビネーションでした。

GM Rapport, R
GM Wei, Y
51st Wch U20 2012

次の図はNimzo Indian Defenceから、c3でナイトの交換が行われたところです。黒視点で次の手を考えてみてください。



Rapport - Wei 17.Nxc3まで

17...c5!

黒のビショップペアを活かすためにも、このタイミングで局面を開きます。Rubinsteinのゲームでもそうだったように、長距離射程のダブルビショップが活きるのは斜めのラインがオープンになったときです。

必修パターン：ビショップペア＋オープンライン

ビショップペアは戦いを支援するスナイパー。見晴らしのいい戦場を用意しよう。

斜めの利きを持つポーンがビショップペアの天敵なので、ポーンを突いて局面を開くチャンスがあれば積極的に開くべし！

17...c5に対して18.d5なら、18...exd5 19.exd5 cxb4 20.axb4 a6!のように、b5-Bb6の形を作りにいて黒十分。18.Rad1?も18...cxb4 19.axb4 Nxe4 20.Nxe4 Bxe4でポーン損の代償はありません。そこで白は18.e5と突きます。

18.e5 cxd4 19.Nb5 Ne4!

ビショップのサポートを活かし、ここでもナイトジャンプです。

20.Qe1 a6 21.Nxd4 b5 22.Bb3 Bb6=



Rapport - Wei 22...Bb6まで

黒はよく利いているビショップペアと攻めの起点になりそうなナイトを手に入れました。一方の白もf4-f5から局面を開いてビショップペアを活用する手段があり、互角の局面です。

これまで見てきたように、ビショップペアは他の要素と組み合わせることで、より強力になります。その優位性は時として駒損をも覆してしまうことがあります。次の例はブリッツのゲームですが、ビショップペアの恐ろしさがよく現れているゲームです。

GM Giri, A
GM Aronian, L
Leuven GCT Blitz 2018



Giri - Aronian 15.Rd1まで

図は14...h6に対して15.Rd1?とクイーンに当たったところです。

自然な手は15...Qc8ですが、16.Bxf6 Bxf6 17.Nd2からNc4やNf1の活用を見せて白十分の形勢です。黒はビショップペアを手に入れましたが、どちらのビショップも急所には利いていません。ビショップペアが働かない例と言えるでしょう。

さて、それでは黒はどのように指すべきでしょうか？

15...hxg5!! 16.Rxd8 Raxd8

Aronianはクイーンを見捨ててビショップを取りました。クイーンvsルーク+ビショップの駒割なので、単純計算では白が駒得です。

しかし白にはb1のナイトを展開するためのマスがないという問題点があります。Rd1+を防ぐため、白のクイーンはf3を離れることができません（このため、次の...g4が厳しい）。また、相手の黒マスビショップを奪ったことで、黒には...Bc5からビショップペアを活用するプランもあります。

このように、ビショップペアは自分と相手で持っている駒が違う場合に、形勢判断に大きな影響を与えることがあります。

必修パターン：ビショップペア+マテリアルインバランス

ビショップペアは時として、駒の価値（単純計算なら3点+3点=6点）よりも大きな価値を持つ。このため、駒交換で多少損していたとしても自分だけがビショップペアを持っているなら有利な評価をして良い（ビショップペアは6.5点〜7点くらいと考えると良い）。

このとき、他の要素も重要な形勢判断指標となるので、ビショップペアや他の有利な要素は極力消されないように気をつけよう！

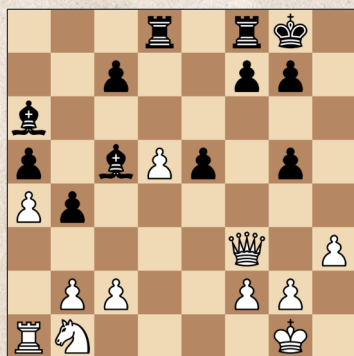
上の考え方を適用すると、クイーン（9点）+ビショップ（3点）vs ルーク（5点）+ビショップペア（7点）なので駒割互角と考えることができます。

さらに黒にはピース展開のアドバンテージがありますから、総合すると黒が優勢の局面です。

17.h3 Bc5 18.Bd5 Nxd5 19.exd5

白は唯一働いているピースだったビショップを交換してでも、Nd2を実現しようとしています。例えば、19...Bb7? 20.Nd2 Bxd5 21.Qg3 f6 22.Qg4のように進むと、黒はオープンポジションでビショップペアを持っていますが、展開の有利は消されてしまったので互角に戻ります。

そこで有利をキープするためには、もうひと工夫しなくてはなりません。



Giri - Aronian 19.exd5まで

19...e4!

この手が唯一、有利を保つ手です。とにかく白の駒が展開してくる前に攻めを継続します。20.Qxe4 Rfe8 21.Qf3 Re1+ 22.Kh2 Re2と進むと、白のナイトは展開できず、次にc2かf2が取れるので黒の有利が拡大します。

20.Qd1 e3! 21.fxe3 Rfe8!

局面が開いたことでビショップペアが働き始めます。

22.Kh1 Rxe3 23.Nd2 Rxd5

白はようやく23.Nd2と指すことができましたが、その間に黒はすべての駒を理想的なポジションに配置しました。この後はBb7からg2を狙っていけば、ディフェンダーのいない白は耐えきれません。

24.Qc1 Rf5 25.Nb3 Bb6 26.Qd2 Bb7 27.Kh2 Rd5 28.Qc1 Re2 29.Qf1 Rde5 30.Rd1 Rf2 31.Rd8+ Kh7 32.Qd3+ g6 0-1

3ゲームを通して、ビショップペアの有利性を学んできました。どのゲームもダブルビショップを活かすために、斜めのラインを開いて局面をオープンに持っていく指し方が見られたと思います。

「ビショップペアがあるから有利」ではなく「ビショップペアが有利になるように局面を作る」ことを考えると、より幅広い指し方ができるようになってきます。今回紹介したパターンの他にも、ビショップペアの活かし方はたくさんあります。その中には私が知らないけれどもGMは知っているようなパターンもあるはずです。

ぜひ古典の勉強を通して、そのようなパターンをたくさん見つけてください。自分だけが知っているパターンが増えるほど、ライバルに差をつけられるようになるはずです。2022年もたくさんのゲームを並べてみてください！



チェス大会 in アメリカ 上杉賀子

NO. 55 第32回イースタン・オープン大会

2005年12月27日~30日

晋作 (14歳)の結果: 4.0P/8Game

レーティング*2003→2022

大会詳細: [USCFサイトより](#)

4日間、8試合戦ってきました。

オープンセクションでも勝率5割と大健闘でした。USCF2200台に勝って、引き分けて、2100台にも引分け格下の二人には勝ちました。(一人は10歳の全米No.1、一人はU13女子の全米No.3)初めてのIMとの対戦は善戦でしたがほんの少しおよびませんでした。でもOpenでやっていける自信ができました。

私は会場を歩き回ったので足腰の疲れがひどく(なんか知っている人が沢山いてチェスの内容はわからないのに楽しんで見ていました)昨晚遅く帰ってきて、洗濯物の山と大掃除もしていない部屋であちこちに書類が飛び散っているなかで 年を越しそうです。実家の母に見られたら怒られそうです。



対戦する晋作

この頃の我が家の話題は長男の大学受験です。(12月中旬に志望大学に合格しました)

大学からは12月12日か13日に可否を発送すると聞いていたので14日からずっと郵便屋さんを待っていました。15日には確実にくるだろうと思っていましたが、白い薄っぺらの封筒が何枚かきただけで一瞬ドキッと(つまり落ちたかと)しましたが全然関係ないダイレクトメールとかでした。郵便屋さん



我が家の正月

が来た時、真っ先に2階から降りてきたのは晋作でした。家族皆がやきもきした午後でした。そして16日に日付が変わった夜中、本人がWEB上で合格を確認し、この年唯一の家族旅行2泊3日のピッツバーグで大学の芝生でとった家族写真がこの合格でやっと年賀状に使えることになりました。大学はゴールではなくやっとスタートラ

インに立てたということを肝に銘じて自分の好きな道に進んでいてくれたらと思っております。

長男はこのお正月に高校のオーケストラがエリザベス女王主催のロンドンニューイヤーパレードに招待されたためメンバーとしてでかけました。長男の高校は音楽プログラムでグラミースクールに選ばれています。

NO. 56 イースタン・オープン・ブリッツ

2005年12月29日~30日

晋作 (14歳)の結果: 6.0P/10Game

大会詳細: [USCFサイトより](#)

Blitzなのにサイトの日付が2日間にわたっているのは夜中にはじまって日付が変わって終了するからです。この大会のBlitzは友達とわいわいがやがや、毎年楽しみです。



ブリッツ大会でチェス仲間とわいわいがやがや

NO. 57 ボルティモア・オープン大会

2006年1月7日~8日

晋作 (14歳)の結果: 3.5P/5Game

レーティング*2022→2027

大会詳細: [USCFサイトより](#)

バスケの試合で1ラウンド目をByeにして土曜、日曜と残り4試合してきました。バスケは最後の最後で逆転されて1点差で負けました。晋作はほとんど出っぱなしでかなり疲れて帰宅後何分かベッドでうたた寝をしてからチェスに出かけ、帰りは夜中の12時でし



対戦する晋作

た。結局3勝1敗、USCF2250以上のマスターの方に負けましたが（以前は軽く負けていたのが今回は相手も途中タフだため息をつくくらいでした。彼は2008年チェスオリンピックでケニア代表で出場された方で、会場のドイツ・ドレスデンで会いました）それ以外の格下3名には確実に勝ち3ポイントの戦績でした。対戦相手の一人は州チェス協会会長のNathさん(1820位)で息子は残り11秒で(相手は1時間以上)引分けをオファーされました。

NO. 58 第38回バージニア・オープン大会

2006年1月27日~29日

晋作 (14歳)の結果: 3.0P/5Game

レーティング*2027→2065

大会詳細: [USCFサイトより](#)

5戦して2勝1敗2引分けの3ポイントでした。FIDE Master二人、ロシアから最近来られた二人、そしてメリーランドの古豪の方々との対戦でしたがよく健闘しました。最終戦は考えている途中で居眠り寸前で目も9割つぶっていてどうなることかと思いましたが水を飲んで目を覚ましてました。最初の4戦がかなりタフだったからです。

1. FM Boris Privman (USCF2337)
白で引分け
2. Yuri Barnakov (2302)
黒で勝ち
3. Denis Strenzwilk (2200)
白で勝ち
4. FM Dov Gorman (2348)
黒で負け
5. Vladinir Pascalutsa (2085)
白で引分け

今年十何回目かのボルティモアオープンのチャンプで1960年代からずっと活躍されているMDの重鎮ナショナルマスターのDenisさん(2200)に5時間以上の熱戦で勝って、すっかり知り合いになりました。彼はフィラデルフィアで1月半ばに行われるLiberty Bell Openという大きな大会の優勝者だったこともあるということが最近わかりました。そしてその大会案内にサインをして晋作にいただきました。

最初に引き分けたFMのPrivmanさんもその後の試合に注目してくださいました。

大金星の相手、2300台、Yuriさんは日本の東北大学に5年ほどいらした化学のドクターでした。旧ソ連、モンゴル北部に近いところの出身です。晋作の戦い方をほめられコーチは誰かと聞かれてコーチの名前はご存知なかったですが、元世界チャンプのGMカリフマンのコーチというYuriさんはレニングラードの大学でカリフマンと一緒にいたという話になりました。

4戦目に負けたFMの方にも戦い方をほめられてコーチは誰かと聞かれました。コーチに関しては昨年暮れあたりから特にバージニア州側（晋作はメリーランド側）の子供たちの親御さんから晋作のコーチの連絡先を聞かれています。バージニア州側には定期的に見てくれるコーチがいなくて皆探しているそうです。息子はこの4年ずっと見てもらっているのとてもうらやましがられています。

最後は2100位のWilliam&Mary大学の物理学の教授と引き分けました。彼は旧ソ連出身でお子さんが11歳、その誕生日プレゼントにこの大会に連れてきてあげたそうです。4年前にアメリカにきたそうです。

こんなに頑張っかなり上の相手と勝ったり引き分けたりしてもレートは35アップ、2064です。やはりここから先はこうしてだいぶ上

が断って、残り5秒で勝ちきりました。（もう勝ち筋は読んでいたそう）負けた相手にも残り3秒でサドンデス、最初の1599にも残り20秒で勝ち、見ている方はハラハラでした。（持ち時間30分の学生大会は絶対無理だと再確認しました）格下にはなんとしてでも勝たなければという意気込みは感じられました。最後1734の大学生には割と楽に勝ちました。



対戦する晋作

にも勝っていかないといけないということでもますます厳しいです。

晋作は翌朝フラフラで出かけていきましたがこの日から放課後近所の小学校チェスクラブでのコーチがはじまりました。ボランティアで行っている小学校に加えてです。州の学生大会でトーナメントダイレクターをしていたときにスカウトされました。以前から知り合いで全米大会でも一緒に過ごしたりしているその小学校は伝統ある州のチャンピオンチームでチェスクラブはPTAが主催しています。今年の全米大会も狙っており、気合が入っています。メンバーをクラブ内の大会でいくつかにレベル順にわけ、インターナショナルマスターとともに、チームの中のトップ軍団を教えます。これはボランティアではなく、日本でいうと家庭教師や塾の学生アルバイトのようなものです。もちろん時給は少なく本当にごくわずかなんですが報酬をもらえるもので「契約書」にサインしました。

大会中、何もしていない私も眠かったり背中が痛くなったり足がだるくなったりかなり疲れましたがまた知り合いができて楽しかったです。

Theme and Variations (11)

前嶋 啓彰

1. はじめに

今回は、チェスの3つの特殊な動きを含むプロブレムを紹介します。

3つの特殊な動きとは、以下の通りです。これらは通常のチェスでも、「特殊な条件の下で可能になる動き」として知られているものであり、実戦でも数多く見られます。

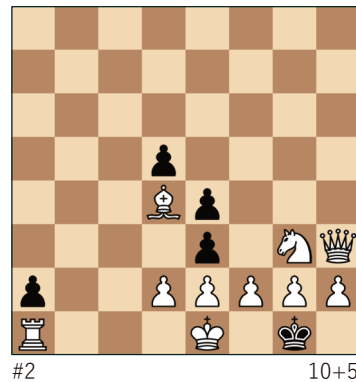
- キャスリング
- アンパッサン
- プロモーション

プロブレムにおいて、与えられた局面におけるキャスリングとアンパッサンには以下の通りのルールがあります。

- プロブレムの局面は、通常のチェスのルールに従って初形から合法手を指し続けた際に到達する局面（合法局面）であると考ええる。
- キャスリングは、キングとルークが動いていることが証明されない限り常にキャスリング可能なものとして扱う。
- アンパッサンは、アンパッサン可能な局面であることが証明されない限り常にアンパッサン不可能なものとして扱う。

キャスリングについては、例えば以下のような局面を考えてみましょう。白番です。

Harley, B. The Chess Amateur, 1922

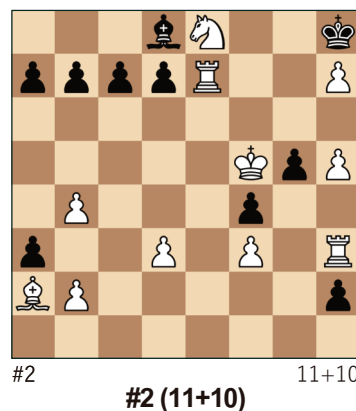


上記のような局面に到達するためには、必ず白のキングが動いていないといけません。（d2-h2のポーンが動いていないことが示せるので、黒キングの侵入経路はc2-d1などであり、その際に白キングがe1にいと侵入できません。）

なので、キャスリングができないことが証明されたため、1.O-O-Oとはできない、ということになります。

アンパッサンについては、例えば以下のような局面を考えてみましょう。これも白番です。

Dunsany, E.J.M.D.P. the London Times Literary Supplement, 1922



この局面に到達するための、黒

の最終手を考えてみます。可能性があるのは以下の3手です。（キングがどこから動いてh8に到達するような手は、g8-h8でもg7-h8でも黒番で黒キングにダブルチェックがかかっていることになり、その局面は合法ではありません。また、0...g6-g5はg6にポーンがいる時点で黒番で白キングにチェックがかかっていることになり、その局面は合法ではありません。）

0...a4-a3

0...g3xh2

0...g7-g5

ここで、白の駒は11駒残っていて、なくなっている駒は5駒です。

また、黒のa3にいるポーンは、もともとeファイルにいたポーンであることがわかります（a-dポーンはすべて初期位置にいるため）。

ここで、黒のa3のポーンは、初期位置であるe7からe7-d6-c5-b4-a3という経路で到達したことがわかります。この時に5つ駒を取っているため、白の取られた5駒（16-11=5）のうち、4駒はこのポーンに取られています。

さて、そうすると、0...a4-a3は上記で考えたポーンの経路の問題より、ありえないということがわかります。

次に、0...g3xh2ですが、その形になる前にgファイルに2つポーンがいることになるので、どちらかはもともとhポーンです。そうすると、何かの駒を1つ（以上、奇数個）取ってgファイルにダブルポーンができることになり、最終手がもし...g3xh2とすると、取れる駒がありません（取られているはずの5駒は、eポーン→aポーンになるために4駒、hポーン→gポーンになるために1駒取られているので、

g3xh2とする駒がない)。

上記のことから、最終手は
0...g7-g5しかありえません。

なので、白はアンパッサンで
1.hxg6e.p!とすることができます。

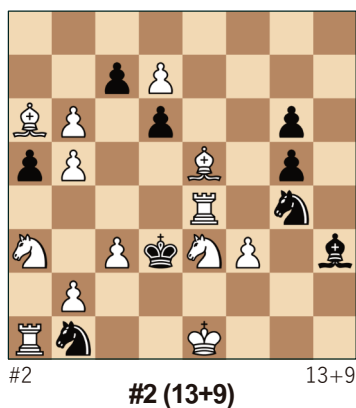
これらのような、問題図に至る
手順の解析はRetrograde Analysis
とよばれ、プロブレムを解く上で
重要になる手段の一つです。ほか
にもいくつかの手法があるため、
興味がある方はぜひ調べてみてく
ださい。

2. Valladao Task

さて、キャスリング、アンパッ
サン、プロモーションがチェスの
動きの中でも特殊な動きである
という話をしましたが、それではそ
れらがすべて現れるような問題は
作れるのでしょうか。

答えはYesであり、それらをす
べて解答中に含むような問題を作
れ、という課題をValladao Taskと
呼びます。

Dyachuk, V. 3rd Prize Rudenko-60, 1999



現代のダイレクトメイト作家の
中でも最高の作家のひとりである
Dyachukの2手メイトです。

ナイトがe3から移動すると
2.Rd4#ですが、移動場所が重要
で、1.Sd1? Sxa3!; 1.Sd5? dxe5!;
1.Sec4? c5!のように受けられます。

Solution:

1.Sec2!

この場所が重要です。なぜなら、

1...Sxa3 2.O-O-O#

1...dxe5 2.d8=Q(R)#

1...c5 2.dxc6 e.p#

とすべてメイトになるためです。

これは、2手目のメイトする手に
キャスリング、アンパッサン、プ
ロモーションがすべて含まれてい
るタイプでしたが、一つの解のラ
インの中にそれらがすべて含まれ
るという場合もあります。

Popov, G. 3rd HM FIDE-Turnier, 2012



手の流れを鑑賞しましょう。

Solution:

1.O-O! (Rf8#がスレットになります)

1...c1=Q (wRf1をピンします)

2.Qxc1 Ba7+ 3.d4 (後の手でクイ
ーンをf4に使いなおすために道を開
けておきます)

3...exd3e.p+ 4.Kh1 O-O-O (黒も
この手でディフェンスできました)

5.Qf4 (6.Qc7#) **5...e5 6.dxe6 e.p.**
(黒がルークでc6を取り返せるよ
うにしておきます)

6...Rd6 7.e7 Rxc6 8.e8=Q+ (あとは
流れるようにメイトになります)

**8...Kb7 9.Qxc6+ Kxc6 10.Qxc7+
Kd5 11.Qd6#**

黒も白も手順中にキャスリン
グ、アンパッサン、プロモーション
がすべて含まれるというプロブ

レムでした。

今回はキャスリング、アンパッ
サン、プロモーションを題材に、
レトロ解析入門とValladao Taskに
ついて書いてみました。興味を持
たれた方は、公開されているプロ
ブレムのデータベース等で検索し
てみるのも面白いと思います。

例えば、以下のようなデータベ
ースがあります。キーワードとし
て、「Valladao Task」など入れる
と調べることができます。

PDB

[https://pdb.dieschwalbe.de/
?langw=EN](https://pdb.dieschwalbe.de/?langw=EN)

YACPD

[https://www.yacpdb.org/#static/
home](https://www.yacpdb.org/#static/home)

From Tyler's Desk:

Nagoya Open 2021 Tournament Report

By Scott, Tyler



The tournament winners

On October 31st, 2021, the annual Nagoya Open tournament was held in, you guessed it, Nagoya City! Although no one was wearing a Halloween costume, there were a number of frighteningly fierce and wild duels. I could only analyze three of them here, though I certainly would have liked to include a few more!

Before we look at the games, I just want to acknowledge and congratulate the winners on their hard-earned victories:

1st place: Averbukh, Alexandre (4 points)

2nd place: Ottawa, Yuto (4 points)

3rd place: Kojima, Shinya (3 points)

This game features a sharp theoretical battle between Takashima-san and Abe-san. Abe-san played well in this tournament, scoring three points and only losing to the tournament winner, Averbukh-san. In the past, he often struggled with his time management, sometimes losing on time in positions that weren't necessarily worse for him. Recently, he seems sharper, more booked up, and better at time management. Perhaps playing in the online rapid Grand Prix tournament every month has been helpful?

Takashima,B - Abe,T [D44]

Nagoya Open Nagoya (2), 31.10.2021
Semi-Slav, Botvinnik Variation

1.d4 d5 2.c4 c6 3.Nc3 Nf6 4.Nf3 e6 5.Bg5 dxc4 The Botvinnik semi-slav! This is one of the wildest, most engine-driven variations in all of chess. It is extremely irrational and chaotic, and at the correspondence level it is generally considered drawn or a bit better for White. At club level, however, anything is possible.

6.e4 b5 7.e5 h6 8.Bh4 g5 9.Nxg5

hxg5 10.Bxg5 Nbd7 11.g3 Bb7 12.exf6 Qb6 13.Bg2 0-0-0 14.0-0 c5 15.d5 b4 This is the starting position of the mainline, after which White has two main moves.

16.Na4 16.Rb1 offering a piece for the b-file, is the other big move. I think it is less popular these days than 16.Na4, though I could be wrong.

16...Qb5 17.dxe6 This forcing line can easily lead to trouble for White if he is not precise.

17.a3!? is the main move, opening the a-file.

17...Bxg2 18.e7?! This tempting move is risky for White.

18.Kxg2 is the better choice here.

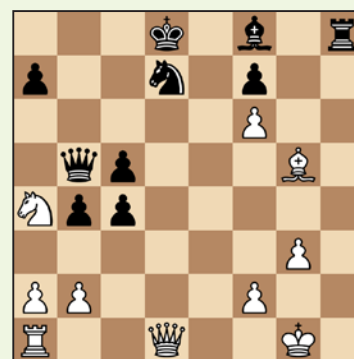
18...Bxf1 18...Qc6! 19.exd8Q+ Kxd8 20.Re1 Bh1 21.f3 Bxf3 22.Qc2 Bd6 might be better than the game continuation. The white king will likely be in danger for the rest of the game.

19.exd8Q+ Kxd8 20.Kxf1?! The counter-intuitive 20.Qxf1 should be played, with the point that 20...Qxa4 21.Qxc4 Qc6 22.Rd1! keeps White in the game, according to recent opening theory. This line continues for a while, and playing it as White without prior study is surely a recipe for disaster.

20...Rxb2 20...Bh6 with the initiative, is also good.

21.Kg1 21.Qd5!? centralizing the queen and defending h1, looks more testing. 21...Qxa4? 22.Bf4 Qa6 23.Re1+- gives White a winning attack, though this is hard to work out without an engine.

21...Rh8



How can White solve his problems here?

22.b3?!

22.Qd5! similar to before, gives White more than enough for the piece. For instance, 22...Qxa4 23.Bf4 Qa6 24.Re1 Bh6 25.Re7 Qc8 26.Bxh6 Rxh6 27.Qxf7± and White will have to return some of the material soon. This kind of piece sac for a long lasting initiative is a difficult decision to make for human players, however, and it is no surprise that White did not go for it in the game.

22...Qc6!? Unfortunately for White, failing to play Qd5 earlier has allowed Black to place his own queen on the h1-a8 diagonal, with a strong initiative due to the open h-file.

23.Bh4 Kc7 24.f3?! 24.Qe2 was probably a better way to try to activate White's pieces.

24...Ne5 25.Kg2 Ng6 26.Bg5 Bd6 26...Qe6!+-

27.Nb2? Qd7!+- Black doesn't miss his chance to target the vulnerable h3-square the second time around.

28.Qg1 There's not much White can do here. He is going to lose the knight on b2 regardless of what he does due to the coming ...Rh2+.

28.f4 saves the knight, but loses the queen after 28...Qc6+ 29.Qf3 Rh2+

28...Qh3+ 29.Kf2 Qh2+ 30.Qg2 Bxg3+ 31.Kf1 Qxg2+ 32.Kxg2 Be5 33.Rc1 Rh2+ 34.Kg1 Rxb2 35.Rxc4 Bd4+ 36.Kf1 Rxa2 37.Bc1 Rf2+ 38.Ke1 Rxf3 39.Ke2 Rxb3 White resigned.

0-1

This next game features a complicated strategic battle in a popular line of the Ruy Lopez. My opponent erred early on in a complex position, giving me great attacking chances. Don't get too excited, though, because I managed to mess it up after getting an advantage, as I often do!

Scott, T - Ottawa, Y [C95]

Nagoya Open Nagoya (4), 31.10.2021
Ruy Lopez, Breyer Variation

1.e4 e5 2.Nf3 Nc6 3.Bb5 a6 4.Ba4 Nf6 5.0-0 Be7 6.Re1 b5 7.Bb3 d6 8.c3 0-0 9.h3 Nb8 10.d4 Nbd7 11.Nbd2 Bb7 12.Bc2 Re8 13.Nf1 Bf8 14.Ng3 g6 15.a4 c5 16.d5 c4 17.Bg5

I was quite certain my opponent would go down this line, so I reviewed it before the tournament. It is one of the mainlines of the Breyer, and has been played many times in tournament practice.

17...Nc5 18.Nh2!? This interesting move is what I prepared for this game. Sometimes the knight goes to g4 to put pressure on the kingside, and sometimes White can also arrange a strong f2-f4 break. Black is fine objectively, but I think White's position is easier to play.

18...Be7 19.Be3 Nfd7 20.Qd2 At this point I didn't really know what to do, so I decided to stop Black from playing ...Bg5. Black will try to play on the queenside with his knights, but it is unclear whether or not that plan will cause any worry for White, and the more black pieces that migrate to the queenside, the more vulnerable the black king becomes.

20.Ng4 Bg5 might have been Black's idea. Having more space, I wanted to avoid the exchange of minor pieces, though it may be interesting after 21.axb5 Bxe3 22.Nxe3 (22.Rxe3 axb5 23.Rxa8 Bxa8 24.Nh6+ Kg7 25.Nhf5+



The players hard at work during the 2nd round games.

gx f5 26.Nxf5+ Kh8 27.Nxd6∞ is an engine line, which apparently gives White good compensation for the piece, but it feels a bit artificial.) 22...axb5 23.Qg4 with some play on the kingside, though Black looks fine to me.

20...Qc7 21.Qe2 Nb6 22.axb5 axb5 23.Ng4 Nba4 Trading off the rooks with 23...Rxa1 24.Rxa1 Ra8 25.Rxa8+ Bxa8 looks logical, but leaves Black's king a bit exposed after 26.Qf3±

24.Rab1 24.Qf3! threatening Nh6+, looks stronger. 24...Rf8?! 25.Bh6 Rfd8? 26.Nf6+ Kh8 27.Ngh5!+- wins material for White, and keeps the attack going. 27...gxh5? 28.Qf5 leads to mate.

24...f6 25.f4 Bd8?! Allowing White to take on e5 doesn't help Black.

Taking on f4 and trying to use the e5 and c5 squares as outposts was probably the best try. For instance 25...exf4 26.Bxf4 Nd7 27.Rf1 when Black's structure is ugly, but he has more counterplay than in the game.

26.fxe5 dxe5 27.Rf1 Rf8 28.Nh6+ Kh8 29.h4 Qd7 30.h5 Bb6 31.Ng4 Qd6 32.Kh2 Nd7 33.hxg6 hxg6 34.Rh1 Kg7?

34...Rf7 was safer, but certainly not easy to play with little time on the clock.



How should White continue?

35.Bh6+?!

35.Nh6! was much stronger, threatening a deadly fork on f5. 35...Rh8 (35...f5 36.exf5 Bxd5 37.fxg6 e4 pinning the knight on g3, is a mess, but surely a good one for White.) 36.Qg4! is winning for White, according to the engine. For instance 36...Rxb6+ (36...Bxe3? 37.Ngf5+ Kf8 38.Nxd6 Rxb6+ 39.Kg3+-) 37.Bxb6+ Kf7 (37...Kxh6?? 38.Nf5+! is game over for Black.) 38.Rhf1 Rh8 39.Nf5! Qc7 40.Rf3+- is a possible continuation, when White is not only an exchange up, but has a powerful initiative on the kingside as well. This is certainly not easy to calculate and assess for human players though!

35...Kf7 36.Bxf8 Rxf8 37.Ne3?! At this point, worried about the bishop on c5 in conjunction with a potential ...Rh8 from Black, I meekly retreated to block the dangerous diagonal. White is still better, but playing defensively was not necessary at this point, especially with the Black king still in a vulnerable position!

37.Nh6+! Ke8 38.Qg4!+- was the way to press forward, not fearing a potential ...Rh8 move from Black. 38...f5

37...Qc5 38.Rhe1 38.Ngf1 was better.

38...Rh8+ 39.Kg1 Qf8 40.Bxa4 bxa4 41.Qxc4?? This foolish move allows Black's light-square bishop, which was passive the entire game, to participate in the attack against my king! There was no reason to take this pawn, and I wasn't aware of the danger that opening the f1-a6 diagonal would pose until it was too late!

41.Qf3± among other moves, preserves White's edge, though Black certainly has counterplay.

41...Qh6! 42.Qe2 Ba6! Now it becomes very clear that grabbing the

c4–pawn was a serious mistake!

43.Qf3 43.c4!? Bxc4 44.Qf3+ sacrifice a pawn with the hope of using the c-file for a rook later, but I don't see White solving his problems to be able to do so any time soon!

43...Qf4!? 43...Nc5! heading to d3, was even stronger. White looks close to lost here.

44.Kf2 Rh4 45.Ngf1 This looks like a blunder, but what else can White do?

Something slow like 45.Ra1?! runs into 45...Qg5!–+ when White is helpless against both ...Rf4 and ...Nc5–d3+ 46.Kg1 trying to get out of the way, drops at least a piece to 46...Rf4

45...Bxf1 46.Kxf1 46.Rxf1 Bxe3+ 47.Ke2 Rg4! 48.Qxe3 Rxe2+ 49.Kd3 Nc5+! 50.Qxc5 Rd2+ 51.Kc4 Qxe4+ 52.Kb5 Rxd5–+ is also winning for Black.

46...Bxe3 47.Qxf4 exf4 48.Ra1 Nc5+ Mathematically, White is doing okay here, but Black's pieces are so much better that White cannot save this position. The rest of the game requires no further commentary.

49.Ke2 Rh2 50.Kf3 Nd3 51.Rxe3 fxe3 52.Kxe3 Nxb2 53.Kf3 Rh8 54.Ra2 Rb8 55.Ke2 Rb3 56.c4 a3 57.c5 Na4 58.Kf1 Nxc5 59.d6 Rb1+ White resigned.

Lesson learned: don't help your opponent activate his passive pieces just to grab some lame pawn!

0-1

This final game is the one that many players have been waiting to see. It is not often that Kojima-san loses a game when he comes to Nagoya, as he out-rates everyone else by a fair margin! In these semi-rapid games, however, even IMs can struggle with their time management, as we will see below.

Averbukh,A - Kojima,S [C45]

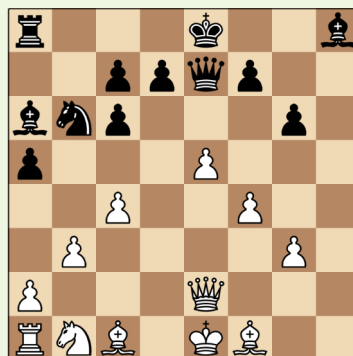
Nagoya Open Nagoya (4), 31.10.2021
Scotch Game, Mieses Variation

1.e4 e5 2.Nf3 Nc6 3.d4 exd4 4.Nxd4 Nf6 5.Nxc6 bxc6 6.e5 Qe7 7.Qe2 Nd5 8.h4!? This interesting line has been trendy in recent years. This move sup-

ports Bg5 and allows for an early rook lift, depending on how Black plays.

8...a5 9.c4 Ba6 10.g3 g6 11.h5 Bg7 12.hxg6 12.f4!? keeping the tension and threatening to play h6 in some lines, is also worth considering.

12...hxg6 13.Rxh8+ Bxh8 14.f4 Nb6 15.b3



This middlegame is characterized by an interesting struggle between structure (White) and dynamics (Black). If White can stabilize and catch up in development without making any major concessions, he should be better because Black's queenside minor pieces will be passive. On the other hand, if Black can use his lead in development and potential pawn breaks to pose concrete problems for White before White stabilizes, Black could easily take over.

15...d6 16.Bb2 0-0-0 17.Nd2 dxe5 18.0-0-0 18.fxe5 looks playable, but it is easy to see why White was concerned about his king in the centre.

18...a4 Black is trying to break down White's structure, but it is not so easy.

18...Nd7 trying to stay a pawn-up, could be tried. For instance 19.Bg2 Bb7∞ when Black seems to be holding onto the pawn for now, but his pieces are passive.

19.Bg2 axb3 20.axb3 Nd7 Black returns a lame pawn for some counterplay. It is certainly a good practical decision.

21.Bxc6 Nc5 22.Be4?! Provoking ...f5 like this seems a bit risky.

22.Kc2!? is perhaps a strange move to make, but it avoids the fork on d3 and reinforces the b-pawn. Play could continue 22...Qe6 23.Qg2 Nd3

when the engine finds a weird tactic to solve White's problems: (23...e4!? might preserve an edge for Black.) 24.Bd7+!? Kxd7 25.Ne4 Ke8 26.Rxd3 Rxd3 27.Kxd3 though White still needs to be careful after 27...Bb7∞

22...f5! 23.Bc2 e4+ This position is rather complex, but I would prefer Black due to the knight on c5 and the passed e-pawn.

24.Nf1 24.Bxh8 Rxh8 25.Nb1 trying to get the knight to d5, might be a better try, though White needs to be careful about the black rook invading along the h-file at an opportune moment.

24...Bxb2+ 25.Kxb2 Qf6+ 26.Kb1 Qc3 26...Rxd1+! 27.Qxd1 Qc3 28.Qd2 would allow Black to keep the queens on and maintain a lot of pressure after 28...Qf3!+ I can easily imagine White losing from here in mutual time trouble, as his position is much harder to play.

27.Rxd8+ Kxd8 28.Qd2+ Qxd2 29.Nxd2 White is probably okay here, but needs to be careful in this ending.

29...e3 30.Nf3 Bb7 31.Nd4 Ke7 32.Kb2?! Kf6?! 32...Ne6! was a nice shot, which Black overlooked. Things become quite uncomfortable for White after 33.Ne2 Bf3 34.Ng1 (34.Bd3? Bxe2 35.Bxe2 Nd4–+) 34...Bg4 35.Kc3 c5!+ when 36.Kd3? Nd4! 37.Bb1 e2 38.Kd2 Nxb3+–+ puts White in big trouble.

33.Kc3 I believe Black lost on time here, as it doesn't make sense to resign. White should be at least fine in any case, as his king is close enough to the e-pawn to avoid tactical tricks from Black like the ones analyzed in the note to the previous move.

1-0

As always, a big thank-you to the tournament director, Horie-san, for hosting this tournament. Without your efforts, we wouldn't have so many great tournaments in Nagoya! Also, thanks to all of the participants for coming, often from outside of Aichi, and giving their best efforts to produce interesting and memorable games!

The next event in Nagoya is the Aichi Championship, scheduled for February 13th, 2022. I hope to see you there!

INFORMATION

TOURNAMENT

全日本チェス選手権地区予選2022

詳細はNCSウェブサイトをご覧ください：

<https://japanchess.org/2021/11/qualifier-tournament-2022/>

西東京チェス選手権2022

2/6 (Sun)

立川市 女性総合センター アイム・4R
スイス・[立川チェスクラブ](#)主催・申
込：2/3まで

連絡：tachikawa.chess@shinran.info

愛知県選手権大会2022

2/13 (Sun)

名古屋市芸術創造センター・4R
スイス・[名古屋チェスクラブ](#)主催・
申込：2/11まで

連絡：nagoyachessclub@gmail.com
(堀江)

千葉選手権大会2022年

2/26 (Sat) ~ 27 (Sun)

千葉市民会館・6Rスイス・[千葉チェ
スクラブ](#)主催・申込：2/24まで

連絡：chibachessclub@gmail.com

中四国チェス選手権2022

2/26 (Sat) ~ 27 (Sun)

(3/26(土) - 3/27(日)へ延期の可能性
あり) 広島、宇品公民館・5Rスイ
ス、[せとうちチェスクラブ](#)主催・申
込：2/18まで

連絡：setouchi.chess@gmail.com

東京チェス選手権2022

3/19 (Sat) ~ 20 (Sun)

東京、北とぴあ・6Rスイス・[NCS \(日
本チェス連盟\)](#)主催・申込：3/1~3/18

連絡：registration@japanchess.org

北海道チェス選手権

3/26 (Sat) ~ 27 (Sun)

札幌、かでる2.7・5Rスイス・[札幌
チェスクラブ](#)主催・申込：3/24まで
連絡：sapporochessclub@gmail.com

東北地区選手権

3/27 (Sun)

仙台市東六コ ミュニティーセンタ
ー・4R準スイス・仙台チェスクラブ
主催・申込：2月から
連絡：電話 022-264-1654 (高橋)

チェス日本選手権予選 大阪場所

4/2 (Sat) ~ 3 (Sun)

大阪市立中央会館・6Rスイス・[大阪阿倍
野チェスクラブ](#)主催・申込：3/30まで
連絡：tbunji622@i.softbank.jp (高島)

神奈川選手権2022

4/2 (Sat) ~ 3 (Sun)

産業貿易センターB102号室・6Rスイス
・川崎チェスクラブ主催・申込：3/1~
3/31

連絡：kawasakichess@gmail.com (安野)

Open National Chess Qualifier 2022

4/3 (Sun)

清新町コミュニティ会館・Divine
Chess Gurukul主催

連絡：praveen.bhatia@sumpurn.com
(Praveen Bhatia)

オンライン花金ブリッツ

TGIF Blitz Tournament

2/18 (Fri)

Chess.com・7R・3分+2秒/手・NCS
主催・当日飛び込み参加可！非会員
でも参加自由！無料！

クラブに参加：[National Chess
Society of Japan](#)

ルーキーズチェス 2022 春

(トーナメント体験会)

2/20 (Sun) 9:45~

大田区産業プラザPiO・NCS主催
・受付終了 (キャンセル待ち)

ステップアップチェス大会 2022

2/20 (Sun) 14:15~

大田区産業プラザPiO・4Rスイス
・NCS主催・申込：2/16まで

連絡：registration@japanchess.org

FOLLOW US & SUBSCRIBE US



@Chess_Society



PENREC.tv



NCS OFFICIAL
CHANNEL

日本チェス連盟 -

[National Chess Society of Japan](#)

アジア大会2022選手派遣について

今年、中国の杭州アジア競技大会でチェスの競技が9月11-14日に行われます。試合形式は個人9ラウンド、25分+10秒/手。日本代表選手内定 (男子選手2名を想定) に係る選手選考などの詳細は現在調整中であり、追って公式サイト等に発表していきます。

STREAMING GUIDE

OPENRECサブスクチャンネルで ステップアップしよう！

OPENRECサブスクチャンネルでは、毎週水曜夜9時から棋譜添削講座やオープニング講座を配信中！

更に、月に一回プロプレーヤー小島さんの講座も配信しています。

配信を観て、初心者から初級者へ、初級者から中級者へステップアップしよう！

FEBRUARY

02/02 (Wed)	21:00	OPENREC	「メインライン探訪」#10 グリュンフェルドディフェンス
02/05 (Sat)	20:00	YouTube	名局から学ぶ必修パターン
02/09 (Wed)	21:00	OPENREC	初中級者向け講座「Improve Your Chess!」#3
02/16 (Wed)	21:00	OPENREC	「メインライン探訪」#11 ニムゾインディアンディフェンス
02/19 (Sat)	21:00	OPENREC	Master Blitz FM山田弘平
02/20 (Sun)	20:00	OPENREC	プロプレーヤー小島慎也のチェス講座
02/23 (Wed)	21:00	OPENREC	初中級者向け講座「Improve Your Chess!」#4
02/26 (Sat)	20:00	OPENREC	第2回「IM池田惇多のチェス講座」



※上記は予定です。予告なく追加・変更・中止場合があります。
その他、配信スタッフによる突発配信なども行っています。

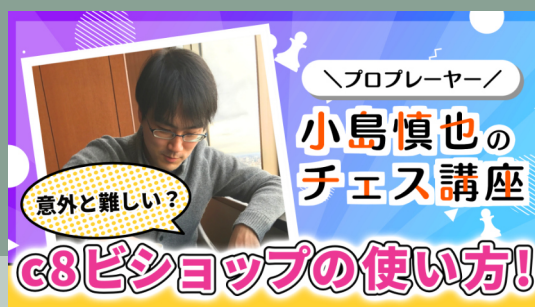


視聴者参加型！あなたの棋譜、添削します

"Improve Your Chess!"ではFM山田弘平さんが
視聴者から寄せられた棋譜を添削！

自分の試合の振り返り方やエンジンの使い方、
その棋譜から見える「直すべきポイント」を丁寧に解説します。

自分の棋譜を送って、棋力向上への糸口をつ
かもう！



テーマに沿って様々な局面を見てみよう！

"プロプレーヤー小島慎也のチェス講座"では
IM小島慎也さんが毎回異なるテーマに沿って、
いくつかの厳選された名局を解説します。

試合の中で登場するテーマをつかんで、自分
の対局に活かそう！

編集後記 35

春の思い出

ヒーバート由美子

私は春は苦手です。アレルギーの季節、カナダに住んでいる間はずっと問題なく過ごせていたのに日本に引っ越して初めて花粉症、というものを経験しました。それ以来日本の2、3月は憂鬱…。またカナダに戻り、ちょっと違う感じの花粉症があるもののそこまでひどくなく済んでいます。春は服装も苦労するし苦手だなあ…。でも一番上の娘の高校の入学式の時にまだ桜が綺麗に残っていて、とっても素敵な写真を撮れたことはよく覚えています。

山田明弘

NCSが船出したのはちょうど3年前。難破船になるかもと怖れた時期もありましたが、でも、行く先に迷いはありませんでした。コロナの荒波に揉まれましたが、今日まで皆様に支えられ、強力な舵取りも加わり、やっと希望の光が見えてきた気がします。さあ、春よ来い！

真鍋浩

子供の頃、転居が多かった私にとって、春といえば引越の季節。新しい環境にワクワク、ドキドキでした。今年の春は、NCSでの新しい仕事にワクワクです。

神田大吾

チェスの暦で、3月は特別です。東京に住んでいた学生時代、3月中旬の「百傑戦」（当時の名称）が全日本選手権に出られるか否かの分かれ目でした。サクラサクか、散るか、さて今年は…

山内美加

春がくると、やたらジョギングをしたくなり、ウェアを揃えたり朝から走ってみたりするのですが、5月まで続いたためしがありません。

りんごぼうず

幼いころ、毎年家族でお花見に行っていました。桜並木のそばにはたくさんの出店が並んでいて、何を食べるかいつも迷っていた記憶があります。最近はコロナウイルスの影響でお花見もできませんよね。何も気にせずに出かけたり、気軽に人と会えるようになるのはいつだろうな～。

木下奏子

大学を卒業した春、何がしたいわけでもなく衝動的にオランダに旅立ちました。まさかそのまま10年以上もこの地に居座るとは思ってもいませんでした。これからもずっとオランダで春を過ごすのか、はたまた違う土地へと移り住むのか…。先のことはわかりませんが、春が来たら花を咲かせる草木のように、自然の流れに抗わず、しなやかに生きていけたらと思います。

編集部

木下奏子・山田明弘・神田大吾・ごまめ・黒坂雄基・山内美加
りんごぼうず・ヒーバート由美子・真鍋浩
(順不同)

発行

日本チェス連盟（一般社団法人 National Chess Society of Japan）

本誌に掲載された写真、イラスト、記事、棋譜の解説等について、無断転載および無断配布を禁止します。著作権はそれぞれのクリエイターにあります。